

たかおか

市議会 だより

No.82 3月定例会号
令和8年(2026年)5月1日発行

3月定例会のあらまし	2P
議決結果一覧	4P
代表質問	5P
一般質問(一括質問・一括答弁)	7P
一般質問(一問一答)	10P
委員会の動き	12P

編集 ■ 広報広聴委員会

発行 ■ 高岡市議会

〒933-8601 高岡市広小路7-50

TEL 0766-20-1531

FAX 0766-20-1534

E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp

「春のおとぎの森公園」(たかおか市議会だより表紙写真 応募作品) 撮影: 上野 貴志



市議会ホームページから過去の本会議の会議録の閲覧・検索ができます。
本会議の録画映像は YouTube で配信しています。
パソコンやスマートフォンなどでご覧になれます。

ホームページは
こちら→



YouTube の
視聴はこちら→



令和8年度予算全会計

総額1513億3610万円を可決

代表・一般質問に21人が登壇

3月定例会は2日に開会し、24日に閉会しました。

市長から令和8年度予算をはじめ48議案が、議員から1議案が提出され、全ての議案を可決・承認・同意しました。

今定例会では、代表質問に2会派、一般質問に19人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

可決・承認・同意した 主な議案等

条例

介護保険条例の一部改正

個人市民税に係る給与所得控除の最低保障額の引き上げに伴う介護保険料の収入不足を防ぐため、令和8年度に限り、控除を従前のものとみなし、保険料を算定するもの。

急患医療センター条例の一部改正

高岡医療圏の耳鼻咽喉科の一次救急体制を確保するため、急患医療センターに耳鼻咽喉科を新設し、現行の在宅当番医制から急患医療センターにおける診療に変更するもの。

(診療日)

休日

(診療時間)

午前9時から午後5時まで

(施行期日)

規則で定める日

高岡市民病院事業の設置等に関する条例の一部改正

昨今の人件費や光熱水費等の上昇を踏まえ、高岡市民病院の利用に係る自費料金(保険適用外)の価格を改定するもの。

(1) 諸証明の交付手数料

(2) 人間ドック料等

(3) 個室使用料

(施行期日)

令和8年6月1日

犯罪被害者等支援条例

犯罪被害者等への支援の重要性・必要性への理解を深め、

支援・連携・協働体制の充実を図るため条例を制定するもの。

(1) 市の責務

・犯罪被害者等の支援に関する施策を総合的に策定し、実施すること。

(2) 市民等及び事業者等の役割
・犯罪被害者等の支援の必要性等への理解を深めること。
・二次的被害が生ずることのないよう配慮すること。

・犯罪被害者等の支援に関する施策へ協力すること。
(3) 支援のための主な施策
・犯罪被害者等の支援を総合的に行うための窓口の設置。
・経済的負担の軽減のための支援金の支給等。

市営住宅条例の一部改正
一宮市営住宅を廃止するもの。

その他

工事請負契約の締結

旧高岡市立平米小学校の解体工事を行うもの。

契約金額 4億2240万円

工事請負契約の変更

都市計画道路路下伏間江福田線の京田地下道二期工事における本体工事について、周辺建物等への工事の影響を考慮し、土留の施工方法を変更したこと等に伴い、契約金額を変更するもの。

(変更前) 2億790万円
(変更後) 2億4292万円

財産の取得

学校給食石瀬共同調理場の食器洗浄機の更新を行うもの。
取得価格 6034万円

財産の譲与

地域で柔軟な活用を図るため、旧牧野公民館の建物を自治会に譲与するもの。
所在 中曽根740番地1
面積 504.1㎡

人事

教育長

杉山 智充氏(新任)

人権擁護委員

本林 弘吉氏(再任)
金谷 武俊氏(新任)

討論要旨

— 令和8年度予算 —

○同志会

《賛成》

令和8年度予算は、市長が就任後初めて編成した当初予算であり、「チェンジ元年予算」と位置付けられた。まず、福祉分野においては、医療的ケア児や発達障がい児、その保護者など、支援を必要とする方々に寄り添った施策を評価する。次に、地域経済や都市環境の分野においては、中心市街地のにぎわい創出、公

公共交通の再構築に向けた取組など、本市の将来に向けた基盤づくりが進められていることを評価する。さらに、物価高騰への対策としては、水道基本料金の減免や地域施設の省エネ化支援など、市民生活や地域経済を支える取組が盛り込まれており、引き続き機動的かつ柔軟な支援策を講じていくことを求める。こうした評価する点がある一方で、課題もある。まず、女性の健康支援や少子化対策として、本市で実績のあった「ルナルナ」有料版の無償提供が継続されなかったこと、また、その代替事業が明確に示されなかったことは残念である。市として、戦略性をもって少子化対策に取り組むことを求める。次に、各種事業において「ワクワク」という言葉が用いられているが、数値目標と進捗の見える化を徹底する政策評価の仕組みを構築する必要がある。また、上下水道事業における管理体制については、短期間のうちに方針変更が繰り返され、事業運営の安定性や意思決定のあり方に課題がある。責任ある判断のもと、持続可能な体制の構築に向けて慎重に対応することを求める。そして、竹平記念体育館サブアリーナの建設や武道機

能の整備、庁舎のあり方検討など、今後の公共施設整備における重要な施策については、議会との十分な議論のもとで進められるべきである。事業の目的や成果が曖昧なまま、市民の税金が使われることのないよう、説明責任を果たし、議会との議論を踏まえて、事業を進めることを強く求める。

○新・高岡愛

《賛成》

令和8年度予算は、「チェンジ元年予算」として、全ての人にやさしく、誰もがワクワクするような高岡を目指す方向性が示されたものである。震災復興、子育て支援、教育、医療、公共交通、地域の賑わいづくりなど、市民生活に深く関わる取組が数多く盛り込まれていると受け止めている。まず、震災からの復旧・復興について、引き続き最優先に位置づけていることを評価する。日常を取り戻し、その先の地域再生につなげていこうとする取組は大変重要である。地域の将来が見えず、不安を抱えながら暮らしている被災者の気持ちにこれからも向き合い、丁寧な寄り添うことを求める。また、全ての人にやさしくという方針のもと、ゼロ歳児おむつ支援の継続、小学校給食の無償化、高齢者へのおむつ支援の拡充などが盛

り込まれ、福祉に関する予算の拡充を評価する。これは、市民の暮らしの中から上がってきた声に応えようとする姿勢が具体的な形になっていると受け止めている。令和8年4月から開設する教育総合支援センターでは、これまで支援の届きにくかった方々に対し、よりきめ細やかな支援が進むことを望む。特に、新たに設置される教育・福祉連携コーディネーターは、教育と福祉の連携をする役割として大いに期待する。一方で、公共施設の今後のあり方、インフラの更新、人口減少や少子高齢化への対応など、避けて通れない課題が数多くある。解決は簡単ではないが、今後正面から向き合い、全力で取り組むことを求める。今回の予算が、市民の安心と希望ある未来につながることを期待するとともに、今後の取組について、費用に見合う効果があるのか、市民の需要に添えているのか、引き続き注視していく。

○立憲民主・社民議員団

《賛成》

全ての人にやさしく、誰もがワクワクするような高岡に変化させるといふ決意を持ち、まちかどトークを開催し、対話をしてきたことを高く評価

する。市民の意見や要望に対し、誠実に応え、形に変えてこそ、チェンジへの一歩である。当面の重要課題は、震災からの復旧・復興であり、引き続きインフラ復旧に取り組んでいくことを強く求める。

○公明党

《賛成》

被災地のいち早くの復興に取り組みとともに、被災者向け交流会・相談会を開催していく中で、被災者に寄り添い、心の復興を進めることを求める。いつ起こるか分からない災害に対し、市民の方々の安全・安心を最優先に、災害に強い市を築くことを要望する。

《賛成》

《賛成》

物価高騰対策については、水道基本料金の減免など、様々な対策を講じており、今後とも状況を注視しながら、市民生活を守るために、迅速かつ的確な対応を求める。子育て、教育分野においては、5歳児健診や地域子育て広場事業、教育総合支援センターでの取組などを通じて、子どもや保護者に寄り添ったきめ細やかな支援を要望する。また、高岡開町の日にあわせた記念イベントの開催や、高岡古城公園の魅力向上、脱炭素先行地域事業の推進など、高岡らしいワクワクする取組を進めることを求める。今後、市長として様々な形で重要な判断や決断を迫られることがあると思うが、冷静かつ賢明な判断で安定した市政運営に努めることを要望する。全ての人にやさしく、誰もがワクワクする高岡に向け、その変化を市民の方々に実感してもらえる

よう尽力することを要望する。

○Kirari-きらりー

《賛成》

対話を重視し、税金を市民のために使うという姿勢に強く賛同する。「住みたいまち高岡」の実現に向けては、未来世代への投資や地域経済の成長が不可欠であり、財源枠を意識した事業の組み替えではなく、成長に向けた新規事業にダイナミックに取り組むことを要望する。また、高岡市民病院の経営改善に向けて、高岡医療圏での連携にとどまらず、診療科の統合や高度医療機器の整理など、個別具体的な役割分担にまで踏み込んだ議論を進めるよう要望する。市民生活にとって重要なインフラの更新を見据え、体育施設のあり方や、旧ダイエー跡地活用の議論を進めるために、全体ロードマップを早急に策定することを望む。市民の声を真摯に受け止め、市政に反映することを基本としつつ、市長がリーダーシップを発揮し、適切な判断を下すことが必要である。選択と集中により予算組みした事業が、市民の満足感や幸福度に結びついたのかなど、定量的にも定性的にも把握できる成果指標を必ず示すことを要望する。

議決結果一覧表（令和8年3月定例会）

[議案]

番号	件名	結果
第1号	令和8年度一般会計予算 * ＜予算の総額＞ 818億5,900万円	可決
第2号	令和8年度国民健康保険事業会計予算 * ＜予算の総額＞ 140億2,456万円	
第3号	令和8年度荻布奨学金事業会計予算 * ＜予算の総額＞ 128万円	
第4号	令和8年度駐車場事業会計予算 * ＜予算の総額＞ 2億5,887万円	
第5号	令和8年度介護保険事業会計予算 * ＜予算の総額＞ 201億4,046万円	
第6号	令和8年度後期高齢者医療事業会計予算 * ＜予算の総額＞ 38億7,559万円	
第7号	令和8年度高岡市民病院事業会計予算 * ＜予算の総額＞ 123億2,123万円	
第8号	令和8年度水道事業会計予算 * ＜予算の総額＞ 56億5,728万円	
第9号	令和8年度工業用水道事業会計予算 * ＜予算の総額＞ 4,609万円	
第10号	令和8年度下水道事業会計予算 * ＜予算の総額＞ 131億5,174万円	
第11号	行政手続条例の一部改正	
第12号	市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	
第13号	市職員等旅費支給条例の一部改正	
第14号	手数料条例の一部改正	
第15号	合併地域振興基金条例を廃止する条例	
第16号	家庭的保育事業等又は乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	
第17号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	
第18号	介護保険条例の一部改正	
第19号	急患医療センター条例の一部改正	
第20号	高岡市民病院事業の設置等に関する条例の一部改正	
第21号	犯罪被害者等支援条例	
第22号	火入れに関する条例の一部改正	
第23号	産業集積促進条例の一部改正	
第24号	地方卸売市場条例の一部改正	
第25号	風致地区内における建築等の規制に関する条例の一部改正	
第26号	市営住宅条例の一部改正	
第27号	火災予防条例の一部改正	
第28号	消防団員等公務災害補償条例の一部改正	
第29号	上下水道事業の設置等に関する条例の一部改正 附則「附属機関に関する条例の一部改正」 「情報公開条例の一部改正」 「個人情報の保護に関する法律施行条例の一部改正」 「市職員定数条例の一部改正」 「市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部改正」 「市上下水道局企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正」 「水洗便所改造資金貸付基金条例の一部改正」 「水道事業給水条例の一部改正」 「工業用水道事業給水条例の一部改正」 「下水道条例の一部改正」 「下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正」 「農業集落排水処理施設条例の一部改正」 「農業集落排水事業分担金の徴収に関する条例の一部改正」	

[議案]

番号	件名	結果
第30号	市上下水道事業管理者の給与等に関する条例	可決
第31号	工事請負契約の締結 (旧平米小学校解体工事)	
第32号	工事請負契約の変更 (下伏間江福田線立体交差整備二期その3工事)	
第33号	財産の取得（食器洗浄機）	
第34号	財産の譲与（建物）	
第35号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更	
第36号	令和7年度一般会計補正予算（第8号） ＜予算の総額＞ 2億4,022万円 ・物価高騰対応低所得世帯支援事業費 2億4,022万円	
第37号	令和7年度一般会計補正予算（第9号） ＜予算の総額＞ △13億8,184万円 ・地域防災計画推進事業 1億円 ・令和6年能登半島地震復旧・復興推進基金への積立て 1億円 ・地域公共交通維持活性化基金への積立て 1億円 ・学校教育振興基金への積立て 1億円 など	
第38号	令和7年度国民健康保険事業会計補正予算（第2号）	
第39号	令和7年度駐車場事業会計補正予算（第3号）	
第40号	令和7年度介護保険事業会計補正予算（第3号）	
第41号	令和7年度後期高齢者医療事業会計補正予算（第2号）	
第42号	令和7年度高岡市民病院事業会計補正予算（第5号）	
第43号	令和7年度下水道事業会計補正予算（第5号）	
第44号	教育長の任命について同意を求める件	同意
第45号	人権擁護委員の推薦について意見を求める件	
第46号	人権擁護委員の推薦について意見を求める件	

[報告]

番号	件名	結果
第1号	専決処分の報告 (令和7年度一般会計補正予算（第6号）) 6,968万円 ＜補正予算の内容＞ ・衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査 6,968万円	承認
第2号	専決処分の報告 (令和7年度一般会計補正予算（第7号）) 3億円 ＜補正予算の内容＞ ・除雪事業費 3億円	

[議員提出議案]

番号	件名	結果
第1号	市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正	可決

いずれも、全会一致で可決・承認・同意されました。

**YouTubeでの
映像配信を行っています!!**

本会議の録画映像について、YouTubeでの配信を行っています。表紙の二次元コードから映像の一覧を確認できます。また、5～11ページの各議員の顔写真横の二次元コードからは、各議員の質問の様子を確認できます。ぜひご覧ください。

* 予算の基本方針は高岡市ホームページで確認できます。

(<https://www.city.takaoka.toyama.jp/gyosei/gyoseijoho/shichonoheya/siseihousinn/13646.html#yosanhenseinokihonhoushin>)

代表質問

今定例会では、2会派の代表が市政全般にわたり質問しました。主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



同志会
水口 清志

水口議員の
質問の様子はこちら



市政運営のロードマップ

問 少なくとも、政策ごとの目標像や進捗を確認できる指標を示した市政運営のロードマップを提示しては。

市長政策部長 本市では、現在、新たな総合計画の策定を進めているところであり、公約や重点政策に関しても、計画に盛り込んでいきたい。各政策分野において、目標と評価指標を定め、進捗管理を行うこととしている。こうした意味では、総合計画が市政運営のロードマップと考えており、市民の方々や議会に進捗と成果について説明責任を果たしていきたい。また、記者会見や議会の各委員会等を通じて、事業の報告を行うなど、市政の透明性の確保に努める。

令和8年度予算

問 チェンジン元年予算の柱と位置づける取組は。また、その取組によって、本市の課題をどのように改善するのか。

市長 8年度予算は「全ての人にやさしく」と「ワクワク」という2本の柱で推進していく。「全ての人にやさしく」では、持続可能な地域医療提供体制の構築に向けた取組、ゼロ歳児へのおむつ券支給などを行う。さらに、地震からの心の復興に向けた被災者向け交流会・相談会も定期的開催するなど、あらゆる世代、困っている方々に寄り添い、市民にやさしいまちづくりを進める。「ワクワク」では、古城公園や高岡七夕まつりの魅力向上、公共交通の実証実験やまちなかまるごとマーケット事業など、まちを歩けば誰かと出会う、ワクワクするまちづくりを進める。これら2本の柱による取組を通じ、市民の方々に目に見える形で「全ての人にやさしく」と「ワクワク」を実感いただくこと

で、「住みたいまち 高岡」の実現につながると考えている。

上下水道事業管理者の設置

問 令和7年9月に上下水道事業管理者を置かないと判断し、今回、その判断を改めたが、これは拙速な判断が引き起こした結果と受け止めてよいか。

市長 7年9月に関係条例を改正した際は、市長職と管理者を兼ねることで、より効率的に業務を実施できるものと考え、管理者を置かないこととした。これまでの間、それぞれの業務に支障をきたさないよう努めてきた。しかし、人口減少や老朽施設の更新・耐震化など、上下水道事業を取り巻く環境が厳しくなっているなか、今後は次期上下水道ビジョンの策定、広域連携や官民連携といったテーマにも対応する必要がある。これを考える上、専任の管理者を置き、自身は市長職に専念できる体制が望ましいと考えた。今回の提案では、私の経験不足と上下水道事業への

見識不足を痛感している。結果として、約半年間で判断を改めることとなったが、改めるべきことは速やかに改めることが必要と考えた。

公共施設のあり方

問 公共施設のあり方検討や方針決定にあたり、議会での議論をどのように位置づけるのか。

副市長 公共施設のあり方検討や方針決定は、将来のまちづくりと市民生活に直結する重要な課題と認識している。このため、公共施設再編計画の中で、地域住民や関係団体等と同様に、議会にも積極的な説明や対話を行うことを明記している。令和4年度の計



今後のあり方を検討している市役所本庁舎

画改定の際には、行財政改革特別委員会でも説明したほか、個別の施設の状況については、所管の委員会で説明しており、議会での議論の機会確保に努めてきた。議会における議論は、市民の多様な視点やニーズを反映させる上で重要な役割を果たすものであり、今後もあり方検討や方針決定を行うっていく際には、委員会等を通じて検討状況を報告し、活発な議論をいただきたい。

地域経済の活性化

問 地域経済の活性化は、人の流れ・お金の流れ・雇用の循環を長期的にどう生み出すが重要と考えるが、現状をどのように捉えているのか。

市長 これまで産業振興ビジョンに基づき、交流拡大、投資促進、雇用創出を図ることで、地域産業の強靱化を推進してきた。一方で、本市の経済情勢は、過去4年間で生産年齢人口が3.4%減少したことに加え、直近の地域経済動向調査では、市内事業所の全体売上が前年同期比で8.7ポイント減少するなど、依然として厳しい状況にある。こうした状況に加え、近年の物価高騰や人手不足といった課題もある。今後は、外からお金

を呼び込む稼ぐ力を育てるとともに、ヒトやカネの地域外への流出を抑えることで、所得と雇用を生み出す地域内経済循環の仕組みを構築する必要がありますと考えている。このため、令和8年度には、地域経済の基盤強化のほか、古城公園の魅力アップなどを通じて、交流人口の増加と地域経済の活性化を図っていく。



新・高岡愛
熊木 義城

熊木議員の
質問の様子はこちら



震災復興に向けた想い

副 市長 震災から2年が経過した今、震災からの復旧・復興に向けての想いは。

市長 被災地では、暮らしの再建やインフラの復旧はもとより、地域の存続に関わる様々な課題が顕在化しており、人口減少や少子高齢化を見据えた持続可能なまちづくりの視点で復興に取り組まなければならぬ。また、被災者の笑顔につながる心の復興こそが大切と考える。このため、



ブレ開催された被災者向け交流会・相談会の様子

被災者向け交流会・相談会を定期的に開催し、被災者交流の場づくりに取り組んでいく。今後、市復興会議において、将来のまちづくりの方向性や、課題を踏まえた具体的な施策について、委員の意見を聞きながら検討を深めていく。復興への道のりは長い期間を要するが、未来に希望を持てるよう、新たな復興計画を策定し、市民の方々に示したい。

物価高対策

副 市長 国の重点支援地方交付金の拡充を受けての本市における物価高対策の背景と狙いは。
市長 本市では、国の補正予算を受け、市民生活を支え、地域全体の経済循環を促すた

め、令和7年12月定例会で実情に即した物価高対策を提案した。今回の提案にあたっては、様々な方の意見を参考に、できる限り全ての市民が効果を享受できる視点と、特に支援を必要とする方々に一刻も早く支援を届けるという視点を踏まえた内容とした。具体的には、住民税非課税世帯などに対するギフトカードの配布、水道基本料金の追加減免などである。税金を市民のために使うという信念のもと、国からの交付限度額を上回って取り組むこととしている。国の交付金をできる限り有効に活用し、市民にその効果が行き渡るように、迅速に準備を進めていきたい。

公共交通ネットワークの構築

副 市長 「市民にやさしい公共交通の実現にむけた勉強会」の具体的な内容と成果は。
市長政策部長 勉強会では、

運転手不足の常態化と、さらなる路線拡充には複数事業者での協力体制が必要という課題を共有した。また、全国の路線バスにおける自動運転やAIオンデマンド交通などの先進事例から、公共交通ネットワークの最適化手法を学んだうえで、路線バス事業の再

構築について、活発な意見交換を行ってきた。その中では、先進技術の積極的な活用や、異なる交通モードの連携・合理化による運行効率の最大化、バス運行事業の共同化・協業化により、持続可能な公共交通ネットワークを構築するという大まかな方向性について、共通認識と協力体制をつくることができた。

教育と福祉の連携

副 市長 教育・福祉連携コーディネーターを設置する背景と期待する効果は。

福祉保健部長 生活保護世帯等の子どもや、不登校状態にある発達障がい等の児童生徒への支援について、学校だけでは対応が難しいケースが増えている。また、教育と福祉の間で情報共有が不十分な場合には、必要な支援につなぐりにくいことなど、教育と福祉の連携強化が課題となっており。こうした課題を踏まえ、教育総合支援センターに教育・福祉連携コーディネーターを新たに配置する。このコーディネーターが、教育委員会と福祉保健部の間で情報共有や支援の調整を行い、支援の入り口から継続的なフォローまで一貫した支援につなげ

る役割を担う。教育と福祉の連携強化により、支援を必要とする子どもの早期把握や適切な支援への移行が可能となり、より効果的な支援体制の構築につながると考えている。

子育て環境の整備

副 市長 今後、こどもや子育て家庭を支援していく上で、重視する視点と具体的な取組は。

福祉保健部長 本市では、高岡市こども計画に基づき、全てのこどもが、年齢や発達程度、置かれた環境にかかわらず身体的、精神的、社会的に幸福な生活を送れるよう、地域社会全体でこどもと子育て当事者を支援する体制を構築することが重要と考えている。このような考えのもと、地域社会と連携したこどもの居場所づくりの推進や、誰一人取り残さないこども支援の充実などに重点的に取り組む。令和8年度は、こどもの視点に立った多様な居場所づくりを推進するため、地域子育て広場事業の内容を拡充する。また、医療的ケアが必要なこどもやその保護者が、保育サービスを利用しやすい環境の充実を図るため、保育施設等への看護師の巡回訪問の実施などにも新たに取り組む。

一般質問

(一括質問・一括答弁)

今定例会では、14人が市政全般にわたり一括質問・一括答弁方式で質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



高木 敬介
新・高岡愛

高木議員の
質問の様子はこちら



下水道の整備

石瀬雨水幹線整備の状況と今後の予定は。

上下水道局長 これまで、宅地化が進み雨水貯留機能の低下がみられる石瀬地区において、雨水幹線のルートや構造などを検討してきた。令和8年度には、整備対象エリアの地元関係者や関係機関との協議が整い次第、事業用地の測量などの調査を行い、9年度から本格的な工事に取り組み予定である。

学校へのエレベーター設置

野村小学校へのエレベーター設置の目的は。

教育長 小学校の35人学級編成に伴う教室不足への対応として、校舎北棟4階部分を教室として活用するため整備す

るものであり、4階教室への給食搬入を安全かつ確実に行うことを目的としている。エレベーターを設置することにより、学校施設のバリアフリー化と避難所機能の強化も図られると考えている。



塚本 政彦
新・高岡愛

塚本議員の
質問の様子はこちら



国民健康保険の課題

特定健診の受診率と特定保健指導の実施率の向上が必要と考えるが対策は。

福祉保健部長 特定健診については、市内87の希望する医療機関で受診できる体制を整えているほか、未受診者には個別に受診勧奨を実施している。特定保健指導については、実施機関との情報交換会を実施するほか、市の保健師等から対象者へ電話等による受講勧奨や、クオカード等の進呈をしている。今後は広報媒体

まちなかの街区公園

を増やし啓発を行うほか、未受診者の掘り起こしにつながる取組を実施していく。

多様化する地域ニーズに合わせたリニューアルを推進しては。

都市創造部長 本市のグリーンプランでは、幅広い世代のニーズや、地域の特性に対応し、市民の憩いの場、地域の活動の場としての公園整備・活用を推進していくことを掲げている。一方で、公園ごとのニーズに合わせる事が重要であるため、周辺住民の意見を聞いて考えていく。



植野 佳奈
新・高岡愛

植野議員の
質問の様子はこちら



レスパイト入院

高岡市民病院で、医療的ケア児の保護者のレスパイトケアのための入院を受け入れ

ては。
記念イベントの一環として実施できないか検討したい。

市民病院事務局長 当院は、令和7年度、医療的ケア児を受け入れている保育園への看護師派遣を始めたほか、小児科医、看護師、関係保育園を交えて医療的ケア児に関する研修会を行った。こうした取組を通じて、専門スキルを有する人材の育成・確保や、レスパイト入院の受け入れに向けた体制整備を進めたい。



酒井 善広
同志会

酒井議員の
質問の様子はこちら



空き家対策

まちぐるみ空き家対策危険防止事業の目的と内容は。

都市創造部長 行政だけでは解決が難しい空き家に対し、自治会に積極的に関わっていただき、空き家対策を促進することを目的としている。事業の内容は、空き家に伴う危険を回避するために、自治会が所有者の承諾を得て実施する工事費用の9割を、市が上限40万円まで補助するものである。令和8年度からは、害虫駆除や樹木伐採、弁護士相談などに対応できるよう、制度拡充を予定している。

学校再編

学校再編の進捗状況と、今後の予定は。

教育長 国吉、五位の2つの中学校区では既に整備を完了しており、高陵、高岡西部、伏木の3つの中学校区につい



鷹匠を描いたレリーフ(瑞龍前田公遺徳碑)

高岡古城公園の魅力向上

令和8年9月13日の高岡城入城記念イベントで、利長公にちなんで鷹匠イベントを開催しては。

都市創造部長 歴史的な背景と結びつく提案と受け止めた。鷹を飛ばす際に必要となるスペースの確保など、具体的な課題を洗い出した上で、実現性や効果などを考慮し、入城

では、スケジュールに沿って整備等を進めている。中田中学校区については、小中一貫校とする計画で、令和9年度を目途に、整備に向けた準備に着手する。



上田 武
立憲民主
社民議員団

被災者向け交流会・相談会

交流会・相談会の内容は、また、伏木地区で試験的に開催した内容と成果は。

福祉保健部長 令和8年度の交流会・相談会は、グループ

懇談を基本に、支援制度の情報提供や相談に対応するもので、市社会福祉協議会が主催し、定期的に開催する。伏木地区でプレ開催した際は、計53人が参加し、グループ懇談等で交流を深めたほか、相談ブースも設置した。参加者からは、今後参加したいとの声が寄せられ、交流の場の必要性を確認できたほか、申込方法など改善点も把握できた。

学校給食費の無償化

中学校まで無償化を拡大

しては。

教育長 市独自に中学校まで拡大する場合、多額の費用が必要となるため、現状難しいと考えている。無償化については、国の責任において全額国費で実施されるべきと考えており、必要な財政措置を国や県へ強く要望していきたい。



梅島 清香
同志会

おとぎの森公園の魅力向上

高岡おとぎの森公園魅力向上事業の事業内容は。

都市創造部長 令和7年度は、民間活力を導入した飲食施設がオープンしたほか、屋根付き休憩所の整備や、かつぱの広場の再整備に向けた調査を実施した。8年度は、7年夏に設置した仮設の床噴水設備に対するアンケート結果を踏まえ、かつぱの広場の再整備工事を実施し、併せて園内にある木製ベンチを更新する。

ルナルナ有料版無償提供

利用者の妊娠率が向上した事実をどのように受け止め

ているのか。

福祉保健部長 事業者からの報告では、連携協定に基づきアプリの有料機能を無償で利用するみらいサポート利用者の方が、全国の無料版利用者よりも、同じ期間内の妊娠確率が高いと示された。本市としては、*フェムテックのアプリを女性の健康管理の取組を支えるツールの一つとして期待している。



八田 一弥
高岡忍者会

雨晴の魅力向上

道の駅雨晴を含め、観光地としての魅力向上に向け、ランドデザインを策定すべきでは。

市長 令和8年度、雨晴を訪れる観光客へのアンケート調査を実施し、観光客の動向分析を行うほか、JR雨晴駅における受入態勢の向上も検討する。雨晴を含めた本市の観光の将来像をしっかりと検討し、策定予定の観光振興ビジョンに反映させたい。

いじめ対策

SNSによる相談窓口を設けては。また、いじめ防止のため、積極的な喚起・広報をすべきでは。

教育長 SNSの活用は、場所を選ばず気軽に相談できる一方、人材確保や経費負担の課題もあるため、他県の取組を参考に研究を進めたい。いじめ防止に向けた各学校の取組をまとめた実践事例集を全学校で共有するなど、意識向上や啓発・広報に努める。



山野井 拓也
新・高岡愛

公立大学の設立可能性

公立大学設立に対する本市の考えは。

市長 教育機関の設置にとどまらず、地域住民、企業、行政が連携し、本市の未来を共に創っていくプラットフォームになると考えている。また、地域密着型の高等教育機関として、卒業後は地元企業での就職が期待され、人手不足の払しょくにもつながると考え

る。一方、学生の確保や財政負担などの課題があることも認識しており、まずは設立の実現可能性を探るための調査・研究を行っていきたい。

資源ごみの持ち去り問題

警察とより連携を図るため、定期的に合同パトロールを実施しては。

生活環境文化部長 これまでも禁止看板の配布やパトロールなどを行ってきた。合同パトロールについては、直接的な抑止力の一つとして有効と考えられ、その可能性について検討していきたい。



新開 広恵
公明党

RSウイルス感染症対策


妊婦を対象とした予防接種事業を実施することなどのような効果を期待するのか。

福祉保健部長 妊婦へのRSウイルスワクチン接種は、母親の体内で作られた抗体が胎盤を通じて胎児に移行することで、生後6か月未満の乳児を感染から守り、重症化を予


*フェムテック：裏表紙(12ページ)の用語解説コーナーをご確認ください。

防する効果が期待される。乳児の命を守ることはもとより、保護者の方々の精神的・経済的負担の軽減が図られる。


除雪対策

田中議員の質問の様子はこちら


田中 勝文
同志会
舗装の不具合通報を除雪対応に活用しては。
都市創造部長 除雪に関する苦情や要望について、問い合わせが集中すると、電話がつかないとの意見を多くいただいている。舗装の不具合通報を活用することで、住民は簡単に分かりやすく通報することができ、市にとっては迅速な対応につなげることができるため、次のシーズンから活用できるように検討する。

田中議員の質問の様子はこちら



安全な水源確保

高岡議員の質問の様子はこちら


上下水道局長 庄川水系を水源としている水道水は、市全体の配水量の約7割を占め、その全てが庄川水系の和田川

水源からの受水である。現在は、開発の動向を注視しつつ関係機関と情報共有に努めている。水道水の安全に関する管理体制については、高岡市水安全計画に基づき水質検査を行っている。

古城公園のトイレ整備

高岡議員の質問の様子はこちら


都市創造部長 古城公園には、和式トイレが24基あり、公園利用者からの声を受け、令和8年度に可能なものは洋式化する。今後、洋式化に向けた設計を進めていくにあたり、物理的な制約から便器の取り換えだけで済まないものも想定される。その場合、バリアフリー化なども含め、その場所に応じた対応を考えていく。



高岡 宏和
同志会

脱炭素の取組

田中議員の質問の様子はこちら


脱炭素先行地域事業について問う。
(1)御旅屋セリオ内に設置予定の環境啓発拠点、児童生徒


の探究的な学びをはじめとする教育の場として活用しては。
(2)脱炭素先行地域づくり計画の目標達成に向けての覚悟は。
教育長 (1)子どもたちが環境啓発拠点を訪れ、本市の環境への取組について知り、体験を通して学ぶことは、身近な環境に興味・関心を持つ機会となり、探究的な学びに取り組む中で、自らの課題設定や探究活動にも寄与すると考える。校長会等を通じ、様々な学習活動での活用を促したい。
市長 (2)本事業は大変重要なものと認識しており、計画に掲げる目標達成に向けては、官民連携や地域資源の活用が鍵と考えている。今後とも、具体的な成果や取組を市民や民間事業者に感じていただくよう、計画の共同提案者と共にたゆまぬ努力と成果を積み重ねていきたい。




環境啓発拠点が設置される御旅屋セリオ



林 貴文
新・高岡愛


林議員の質問の様子はこちら


歴史・文化の活用

田中議員の質問の様子はこちら


基本構想素案を審議した総合計画審議会総会を終えて、歴史・文化を踏まえた本市の目指す姿について、見解は。
市長 本市の真価は、歴史・文化、商工業、自然の3つの奥行きある魅力が連関し、重層的にまちをつくってきたことにあると考える。とりわけ、歴史・文化は、高岡発展の礎であり、将来にわたって伝え、守り、継承していく決意である。その上で、「住みたいまち高岡」を目指したい。


太田地区のまちづくり

高岡議員の質問の様子はこちら


地元住民の生活環境と調和のとれた観光振興に取り組み、シビックプライドの醸成を図っては。
副市長 太田地区では、令和8年度に、観光客のニーズを把握・分析するアンケートを実施し、雨晴駅の入態勢向上も検討していく。また、道の駅雨晴駐車場の週末の誘導



中川 加津代
Kirari-きらり-

中川議員の質問の様子はこちら


今後の市政運営

田中議員の質問の様子はこちら


今後の市政運営について問う。
(1)竹平記念体育館のサブアリーナは、事実上、建設しない方針と受け止めてよいのか。
(2)高岡駅南口の旧ダイエー跡地を長期保有することで、無駄な税金が投入されるが、どのようなスケジュール感で問題解決に取り組むのか。
教育長 (1)現在、基本設計を実施しており、今後、その結果を踏まえながら、将来的な新総合体育館の建設も見据え、財政状況やまちづくりの観点など、様々な角度から検討を進めたい。
市長政策部長 (2)当該土地の今後の扱いについては、慎重に検討を進めていく必要がある。一方で、なるべく早期に



サブアリーナ建設が検討される竹平記念体育館

減や、古城公園の魅力向上などの歴史・文化を活用した取り組みを通じ、高岡の変化を肌で感じ、安心と豊かさを実感していただきたい。市としては、単に事業を実施するだけでなく、対話を通じ共にまちづくりに参加していただくことを期待している。また、市政に関心を持ち、積極的な意見や提案を寄せていただくとともに、高岡の魅力を外に発信し、育てていくことに協力をお願いしたい。

震災からの復旧・復興

問 まだ復旧できていないインフラはいつまでに完了する予定なのか。

都市創造部長 国の災害査定を受けた、本市が所管する道路や上下水道等の公共インフラは45箇所あり、令和7年度末までに22箇所が完了する見込みである。残る23箇所について、最も被害が大きかった伏木地区では11箇所あるが、これらについては、8年度末までの復旧完了を目標に取り組んでいるところである。引き続き地元の方々や関係機関との調整を密に行い、全力で進めていく。



石須 大雄
立憲民主・
社民議員団

石須議員の
質問の様子はこちら



チェンジン元年予算

問 市民に対して期待することは。

市長 市民には、ゼロ歳児へのおむつ券支給などの負担軽減



一般質問 (一問一答)

今定例会では、5人が市政全般にわたり、一問一答方式で質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



山上 尊士
公明党

山上議員の
質問の様子はこちら



地震発生時の火災対策

問 感震ブリーカーの設置促進に向け、補助制度を導入し

消防長 本市では、耐震改修促進計画において、感震ブリーカーの設置促進を掲げており、今後も関係各課と連携して普及啓発に取り組む。補助制度については他市の取組事例などを参考に研究していく。

持続可能な地域医療体制

問 本市の目指すべき姿は。

市長 医療を取り巻く環境は厳しさを増しており、今のままでは医療提供体制の維持が厳しくなる可能性がある。公的病院がそれぞれの役割を果たしながら相互に連携し、地域全体で医療を支える体制の構築に今から取り組んでいか



水越 進一
自民党無派閥会

水越議員の
質問の様子はこちら



公設の放課後児童クラブ

問 運営の標準化に向け、行政が指導・調整をすべきでは。

福祉保健部長 本市では、運営基準等を盛り込んだハンドブックを配付するとともに、職員の配置や児童の受入れに係る相談等について、適宜指導・助言を行っている。一方、クラブによって状況が異なっており、運営面の統一を図ることは課題がある。このため、一定程度は地域の実情に応じた柔軟な対応が必要と認識している。



筏井 哲治
同志会

筏井議員の
質問の様子はこちら



高岡市地方卸売市場

問 10年後のビジョンは。

市長 当市場は公設民営であり、市は、今後とも市民及び県西部の食生活を支える施設として、市場内の施設の維

持・管理に取り組む。その上で、市場の10年後のビジョンを描くには、市場内の組合の方々の合意や理解が重要となる。市としては、市場内で生業をされている方々の意見を伺いながら、将来のあり方を描いていきたい。

消防本部・高岡消防署新庁舎

図 どのような機能強化が図られたのか。

消防長 庁舎の耐震性及び72時間稼働の非常電源を確保したほか、訓練施設の整備、感染症対策を考慮した仮眠室の個室化、女性消防職員の勤務に対応した女性専用室の整備など、機能強化を図った。また、県西部消防指令センターの消防通信指令システムには、Live119のほか、119番通報の通話内容の音声認識機能や、災害等で119番回線に障害が発生した場合の代替装置として使用できる衛星携帯電話などを新たに導入した。これらにより、本市の消防力・防災力の向上につなげられるよう取り組みたい。



福井 直樹
新・高岡愛

福井議員の
質問の様子はこちら



行政サービスの維持

図 下水道事業について、現状を踏まえた上で、早期整備が実現できる方法を考えるべきでは。

上下水道局長 令和8年1月に国が示した、下水道と合併処理浄化槽とのベストミックスによる考え方を取り入れ、事業費の削減を図っている自治体がある。本市においても、事業の進捗につなげていくため、この考え方を取り入れた効率的な整備のあり方や手法について、関係部局と連携しながら検討していきたい。

おとぎの森公園再整備の効果

図 令和7年に再整備したにぎわい広場について、駐車場不足の対策の側面もあったが、効果は。

都市創造部長 駐車スペースは、園内外に約470台分あり、このうち105台分はにぎわい広場の再整備によるものである。整備後の園内の満



再整備されたおとぎの森公園にぎわい広場



本田 利麻
同志会

本田議員の
質問の様子はこちら



祭りへの支援策

図 戸出七夕まつりなど、高齢化やコロナ禍を乗り越え、地域全体で継続しようと頑張っている地域を応援することが、自治体の役割では。

市長 本市は、これまでも金銭的な支援のほか、情報発信、シャトルバスの運行、実行委員会への参画など、様々な形で協力してきた。一方で、人口減少などによる地域の運営

産業団地の造成と企業誘致

図 本市の本気度は。

市長 企業誘致による地域経済の活性化と雇用増のため、本気で取り組む必要がある。私が前面に立つが、私だけでは力不足のため、企業誘致戦略アドバイザーを起用し、ともに首都圏等の企業、団体、中央官庁を訪問し誘致活動を行いたい。本市の未来を切り開く重要なプロジェクトとして、強い覚悟を持って臨む。

議会日誌

12月定例会後～3月定例会前

- 1月 9日 広報広聴委員会
- 29日 代表者会議
- 2月 5日 総務文教常任委員会
- 産業建設常任委員会
- 9日 民生病院常任委員会
- 13日 議員説明会
- 代表者会議
- 19日 議会運営委員会
- 24日 正副常任委員長会議

3月定例会

- 3月 2日 議員協議会
- 本会議(提案理由説明)
- 民生病院常任委員会
- 議案説明会
- 3日 議案説明会
- 本会議(追加提案理由説明)
- 議案説明会
- 議会改革検討委員会
- 5日 本会議(代表質問)
- 9日 本会議(一般質問(一括))
- 10日 本会議(一般質問(一括))
- 16日 本会議(一般質問(一問一答))
- 代表者会議
- 17日 民生病院常任委員会
- 18日 代表者会議
- 産業建設常任委員会
- 19日 議会運営委員会
- 総務文教常任委員会
- 24日 委員長会議
- 議会運営委員会
- 議員協議会
- 本会議(議案など議決)

委員会の動き

常任委員会では、当局の考えを聞き、付託議案の審査を行いました。委員からの主な質疑と当局からの答弁は次のとおりです。

○総務文教常任委員会

問 どのような経緯で3×3バスケットボールコートを高岡駅北口交流広場に設置することとしたのか。

答 令和7年度にコートの仮設やアンケートなどのニーズ調査を実施し、これらの結果を踏まえ、整備することとした。設置場所については、まちの賑わいづくりへの寄与に加え、6年度と7年度に民間団体での活用実績があることを踏まえ選定した。



民間団体による高岡駅北口交流広場活用の様子

○民生病院常任委員会

問 令和8年の秋から開始する5歳児健診の目的は。

答 小学校入学までに必要な生活習慣や言語理解能力、集団生活を送る上で求められる社会性及び調和的な行動を確認するために実施する。子ども

もの状況等のケースに合わせ、健診後に保健・医療・福祉・教育の各分野の専門職が連携することで、就学に向けた準備を早くから支援し、小学校生活へのスムーズな移行につなげたい。

○産業建設常任委員会

問 空き家等実態調査の具体的な内容は。また、市内全域の調査を業者に委託するのか。

答 現地調査を行い、市内の空き家の地域ごとの分布状況など、集計分析を行うものである。調査項目は、老朽化による危険性や衛生上、景観上、生活環境上の支障の有無などを調査する。過去の調査では、地域によって老朽度判定にばらつきがあったことや、自治会の負担軽減という観点から、市内全域一律の調査として、

調査会社などへの委託を予定している。

用語解説コーナー

AIオンデマンド交通 ※6ページ掲載
AIを活用した効率的な配車により、利用者の予約に対し、リアルタイムに最適配車を行うシステム。

レスパイト入院

※7ページ掲載
「一時休止」「休息」を指すレスパイトを元とする言葉。医療的ケア児の保護者などが休養するため、医療的ケア児などが一時的に入院することを言う。

フェムテック

※8ページ掲載
「Female(女性)」「Technology(技術)」の造語で、生理や更年期など女性の健康課題を先進的な技術で解決する製品やサービスを指す。例えば、月経周期管理アプリでは、月経周期の把握により、自ら快適に過ごすための準備や対処が可能になる。

編集後記

先般、県内の女性議員が党派を超えて一堂に会する富山県女性議員連絡会に参加しました。昨年の射水市議会議員選挙において、2名の女性市議が誕生したことで、初めて県内全ての自治体に女性議員が揃いました。それでも先般発表された「都道府県版ジェンダーギャップ指数」では、富山県は全国40位と、後塵を拝しています。これは、地方議員や首長に女性が少ないことを如実に現した順位です。

このようななか、3月定例会では、医療的ケア児やその保護者に対する支援について等、福祉に関する質問が多く行われました。市議を務めさせていた中で、女性特有のお困りごとには、女性議員が実感を持って、または当事者として対応させていただくことが、安心・共感に直結していると感じます。より多くの女性を支えるためにも、女性が活躍しやすい市政運営に尽力させていただきます。(植野記)

★編集委員

- ◎熊木 ○酒井
- 山野井、植野、山上、梅島、田中、筏井、高岡、上田
- (◎委員長 ○副委員長)

6月定例会の予定

6月定例会は、下記のとおり開催される予定です。
なお、日時等は、6月3日(木)開催予定の議会運営委員会で決定されます。

3日(木)	13時	議会運営委員会
	14時	代表者会議
11日(木)	10時	議員協議会
	13時	本会議(提案理由説明)
16日(木)	9時	議会運営委員会
	10時	本会議(一般質問(一括))
17日(木)	10時	本会議(一般質問(一括))
		本会議終了後*
		総合計画特別委員会
18日(木)	10時	本会議(一般質問(一括)予備日)
		代表者会議
19日(金)	9時	民生病院常任委員会
	10時	産業建設常任委員会
	13時	産業建設常任委員会
22日(木)	10時	総合計画特別委員会
	13時	総務文教常任委員会
24日(木)	9時	議会運営委員会
	10時	総合計画特別委員会
26日(金)	9時30分	委員長会議
	10時	議会運営委員会
	11時	議員協議会
	13時	本会議(議案など議決)

*一般質問が18日に行われる場合は、「総合計画特別委員会」は、18日の本会議終了後に開催します。

♣ 詳しい内容については、高岡市議会事務局(☎20-1531)までお問い合わせください。

市議会の傍聴

本会議及び委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。
本会議は82名(うち車椅子利用者は5名)まで、委員会は7名まで傍聴できます。

12月定例会以降の傍聴者数

	本会議	委員会
令和8年 1月	-	0人
2月	-	0人
3月	109人	3人